

技術資料

芝用殺虫剤

ナイスイーグル® SC

®は登録商標

長期残効でゆとり防除が可能!!

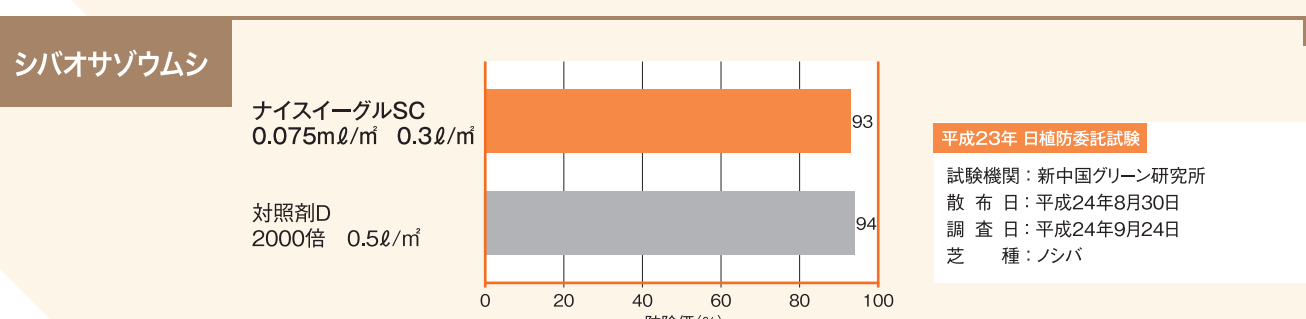
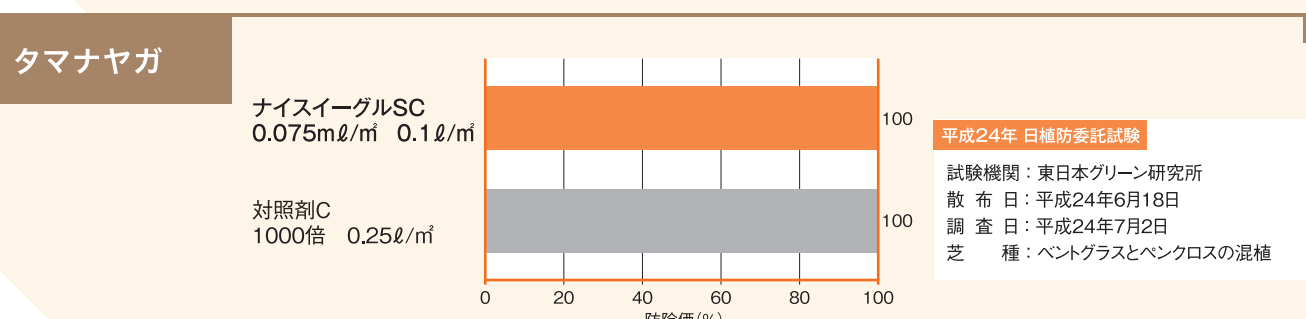
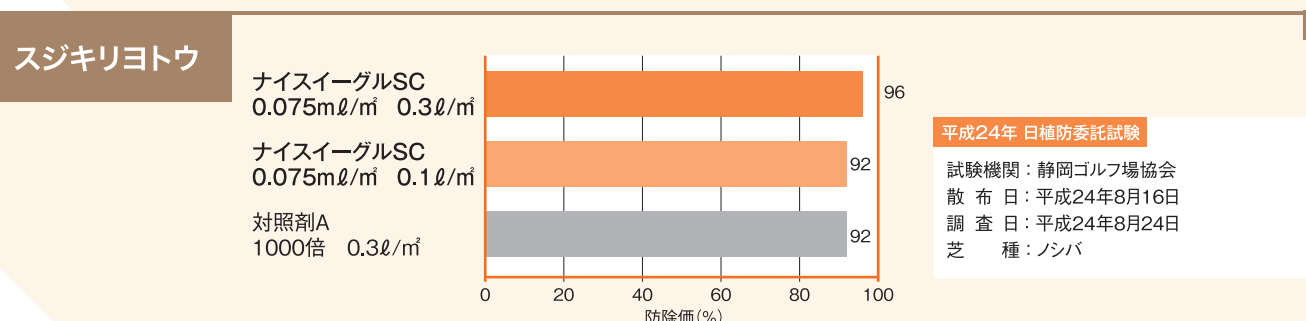
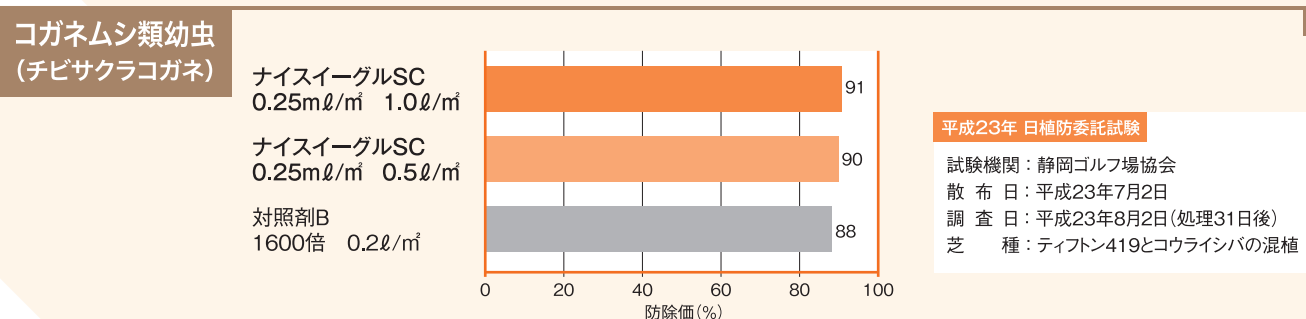
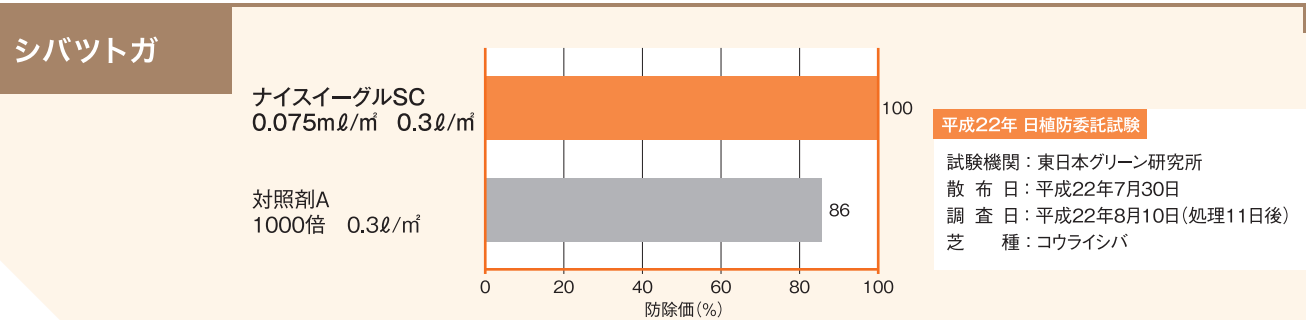
250ml×10本



特長1 広いスペクトラム

ナイスイーグルSCはシバツトガやタマナヤガ等のチョウ目からコガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシまで幅広い害虫に対して高い効果を示します。

委託試験成績概要



適用害虫と使用方法

*本剤およびクロルフルアズロンを含む農業の総使用回数

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	使用方法	総使用回数*
		薬量 (ml/m ²)	希釈水量 (ℓ/m ²)			
芝	シバツトガ タマナヤガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ	0.075	0.1~0.3	発生初期	散布	4回以内
	コガネムシ類幼虫	0.25	0.5~1			
作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ)	使用時期	使用方法	総使用回数*
樹木類	ケムシ類	4,000~6,000	200~700	発生初期	散布	4回以内

効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製時には、使用直前に容器をよく振とうしてください。
- 本剤は植物体上での移行性がないため、均一に散布してください。
- 本剤は幼虫の脱皮を阻害し、やがて死亡させる性質をもつため、幼虫期になるべく早く散布してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意事項

- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬液が飛散し、桑に付着するおそれがある場所では、使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空容器等は水産動植物に影響を与えないよう、適切に処理してください。

ラベルを守って正しく使用しましょう!
適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

● 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。

※本内容は2025年1月時点での知見に基づいて作成しています。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>



2025.1.JBA

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ナイスイーグル[®]SCとは

有効成分 クロルフルアズロン 10.0%

ナイスイーグルSCは石原産業株式が発明・開発した、昆虫のキチン生合成の阻害を特長とするIGR剤です。

ナイスイーグル[®]SCの作用機作

ナイスイーグルSCの有効成分クロルフルアズロンを処理された芝をチョウ目害虫の幼虫が摂食すると、対象害虫はキチン質を含む表皮形成が阻害されるため、脱皮・変態に異常をきたし、最終的には黒化・ミイラ状になって死亡します。また、コガネムシ類幼虫も本剤が処理された芝の根やサッチなどの有機物を摂食することで、チョウ目害虫と同様の作用により死に至ります。

キチン生合成阻害に基づく原表皮形成阻害

チョウ目害虫の幼虫に経口処理、24時間後観察

クロルフルアズロン 10 μ g処理	無処理
	
真皮細胞	原表皮

石原産業株式会社 中央研究所 (顕微鏡写真)

ナイスイーグルSC処理による害虫の死亡症状

スジキリヨトウ	コガネムシ
	
無処理	無処理
	
ナイスイーグルSC処理による黒化・ミイラ化	

ナイスイーグル[®]SCの特長

- 特長1** 広いスペクトラム
- 特長2** 長期残効性
- 特長3** 芝にも環境にも優しいSC製剤

特長2 長期残効性

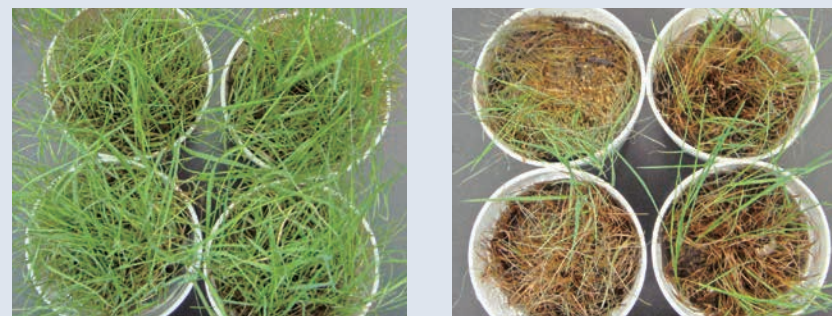
ナイスイーグルSCの成分は光、温度に対して比較的安定で残効性に優れることから、散布後長期にわたって残効が期待できます。

長期残効性 社内試験 (石原産業株式会社 中央研究所)

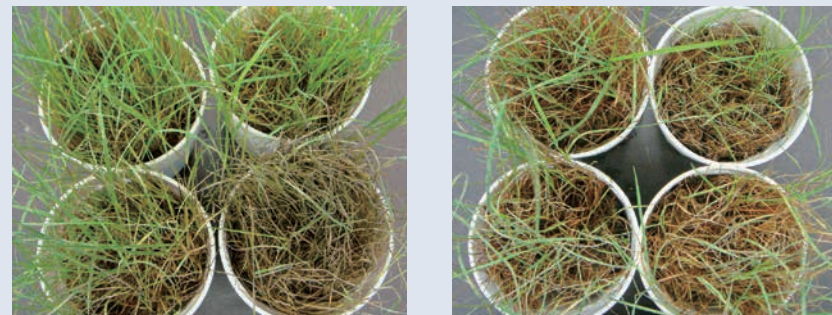
▶▶▶ 方法

所定薬量になるよう希釈調整した薬液 (0.3 l/m^2 相当量) を芝に散布し、31日後にスジキリヨトウの若・中齢幼虫 (10頭/ポット) を放った。

「ナイスイーグルSC散布31日後のスジキリヨトウ食害防止効果」



ナイスイーグルSC (0.075ml/m², 0.3 l/m^2 , 4000倍) 無処理区



対照剤E (0.03ml/m², 0.3 l/m^2 , 10000倍) 対照剤F (0.075ml/m², 0.3 l/m^2 , 4000倍)

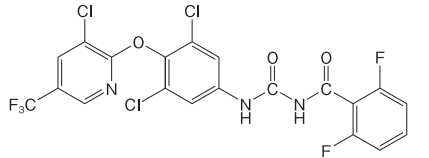
▶▶▶ 結果

ナイスイーグルSC (0.075ml/m², 0.3 l/m^2) は100%の殺虫効果を示し、また食害防止効果も高く、長期残効性に優れた。

特長3 芝にも環境にも優しいSC製剤

ナイスイーグルSCは天敵やミツバチ等の有用昆虫に対してほとんど影響がなく、また日本芝、西洋芝に対して4倍量でも薬害は認められず、環境にも芝にも優しい薬剤です。また、SC製剤で調製し易く、嫌な臭いありません。

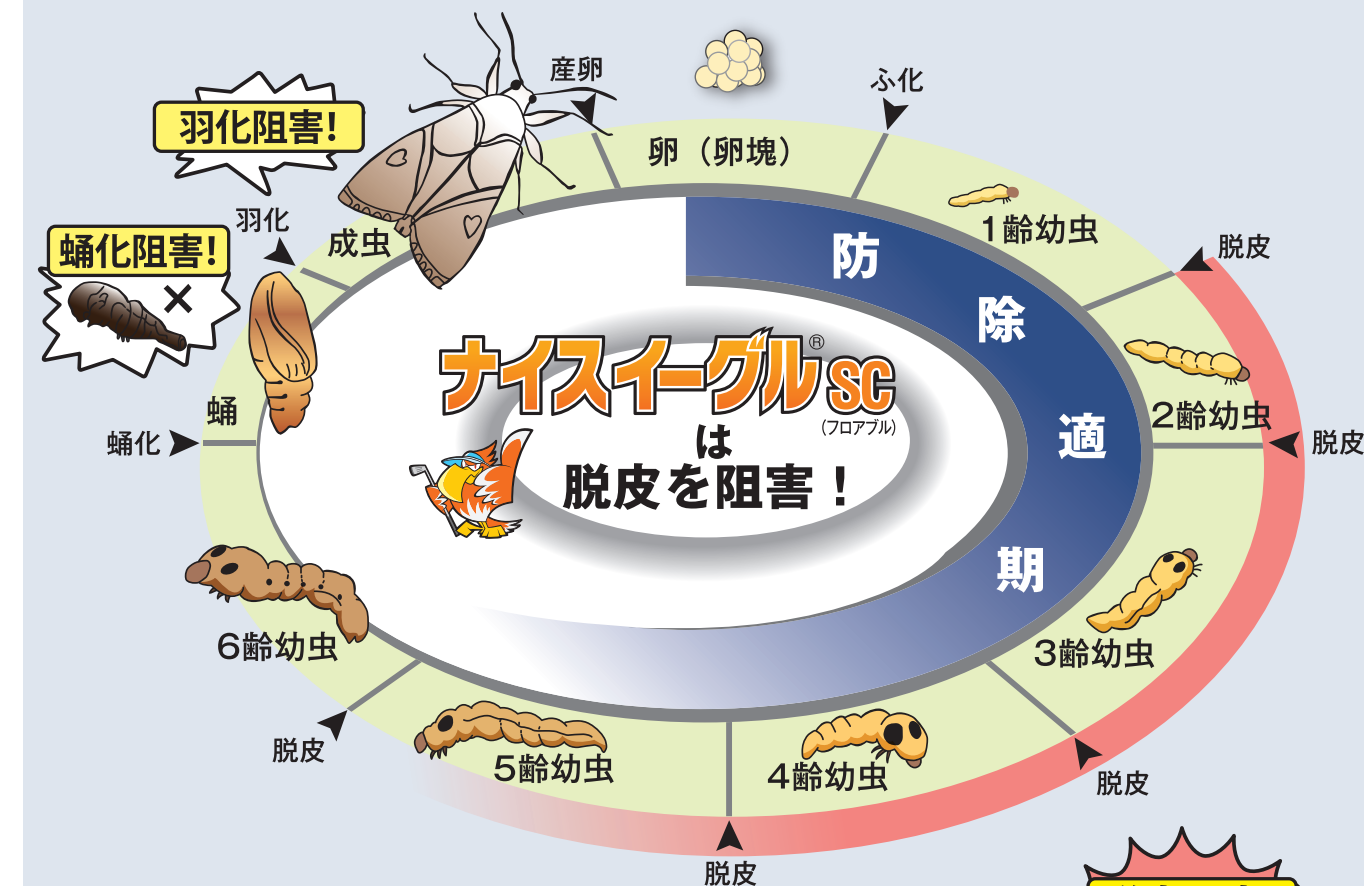
有効成分および物理的・化学的性状

一般名	クロルフルアズロン	急性経口毒性	ラット ♂♀	LD ₅₀	>5000mg/kg
試験名	IKI-7899	急性経皮毒性	ラット ♂♀	LD ₅₀	>2000mg/kg
化学名	1-[3,5-ジクロロ-4-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルオキシ)フェニル]-3-(2,6-ジフルオロベンジル)尿素	急性吸入毒性	ラット ♂♀	LD ₅₀	>5.53mg/L
分子式	C ₂₀ H ₈ Cl ₃ F ₅ N ₂ O ₃	皮膚刺激性	ウサギ		刺激性なし
構造式		眼刺激性	ウサギ		刺激性なし
		皮膚感受性	モルモット		皮膚感受性なし
		水生生物への影響 (製剤)	コイ	LC ₅₀	(96hr) >1000mg/L
		オオミジンコ	EC ₅₀	(48hr) 0.0109mg/L	
性状	類白色水和性粘稠懸濁液 (製剤)	藻類	ErC ₅₀	(0-72hr) >1000mg/L	
		環境生物への影響 (原体)	ミツバチ		30分、24、48、72時間後観察 影響なし
		ミズ	LC ₅₀	>1000mg a.i./kg	
融点 (°C)	221.2~223.9 (純品)	土壌非標的生物			影響なし
蒸気圧	約1.599×10 ⁻⁹ Pa (20°C) (純品)				
水溶解度	0.012mg/L (20°C) (純品)				

※毒劇物に該当しないものを指している通称

ナイスイーグル[®]SCの上手な使い方

害虫の産卵期に散布することで、ナイスイーグルSCの長い残効性により、孵化後の防除効果についても期待できます。



ナイスイーグルSCは食毒作用の強い殺虫剤です。コガネムシ類幼虫に対しても、若齢幼虫の時期に薬剤を摂食させることで、効果が安定します。

ナイスイーグルSCは老齢幼虫に対する効果も期待できますが、**若齢幼虫期**になるべく早く処理することで、最も効果が現れます。